

第33回 豊川市地域公共交通会議 資料

<目 次>

1. 【報告事項（１）】平成２９年４月までの豊川市コミュニティバスの運行実績について
2. 【報告事項（２）】平成２８年度決算及び平成２９年度補正予算について
3. 【報告事項（３）】平成２９年度の協議会スケジュールについて
4. 【報告事項（４）】地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について
5. 【協議事項（１）】生活交通確保維持改善計画について
6. 【協議事項（２）】１日フリー乗車券について
7. 【協議事項（３）】利用促進に関する取り組みについて
8. 【協議事項（４）】コミュニティバス運行事業における予備車の配備について

平成２９年６月１２日

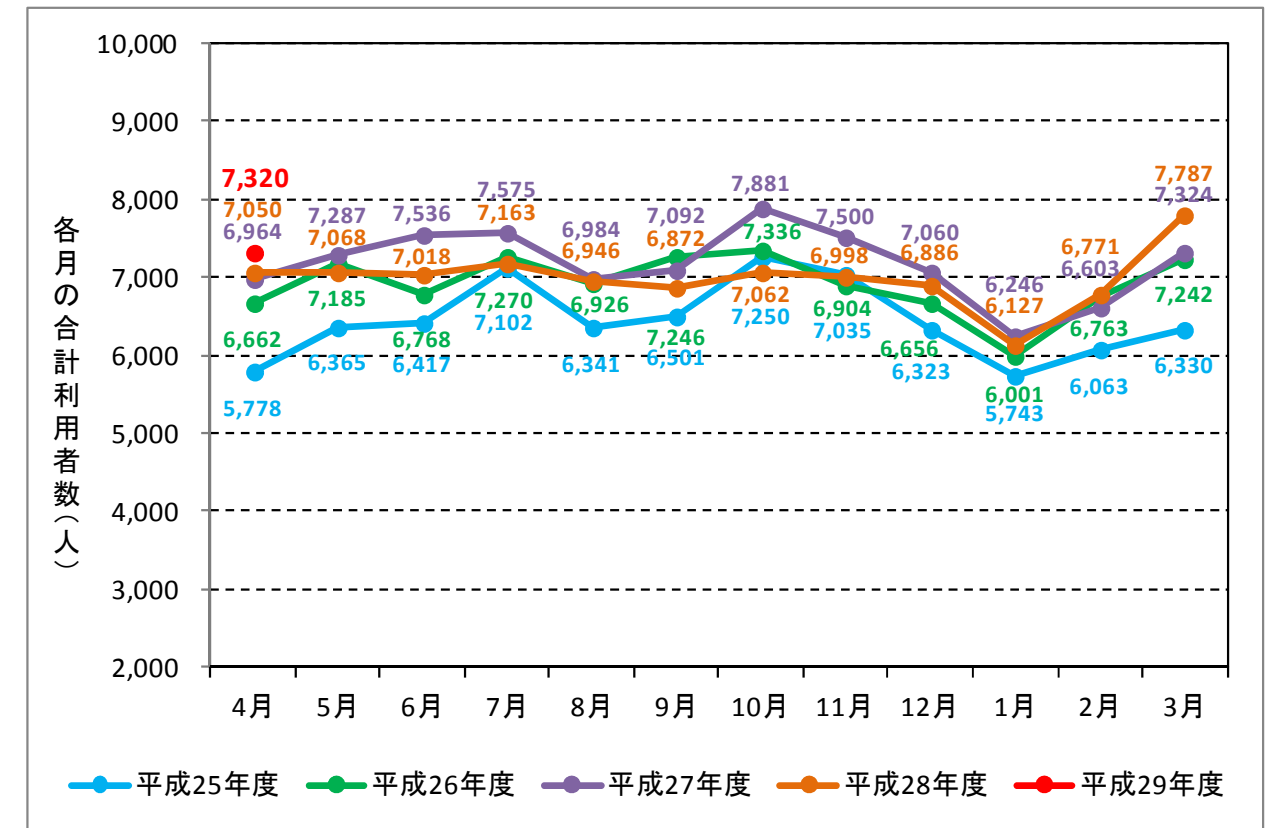
1. 【報告事項（1）】平成29年4月までの豊川市コミュニティバスの運行実績について

1-1. 豊川市コミュニティバス利用者数の推移

平成28年度は、5月以降は前年同月の利用者数を下回る結果となっており、新たな体系で運行を始めた10月は前年同月より819人減少、11月は502人減少していますが、12月は174人減少、1月は119人減少のように、その減少幅は小さくなりました。

2月以降は、2月は168人増加、3月は463人増加、4月は270人増加し、前年同月を上回りました。

運行開始から平成29年4月までの66ヶ月間の総利用者数は約43.5万人となっています。



豊川市コミュニティバスの利用者数

※ 路線の主な見直し

- 平成24年10月 1日：一宮地区地域路線の路線変更
(2路線<東回り、西回り>に1路線<中回り>追加)
- 平成24年10月 1日：御油地区地域路線の運行開始
(1日6便による運行で、御油地区と国府駅を結ぶ路線で運行開始)
- 平成25年 5月 1日：豊川市民病院の移転に伴う路線再編
(豊川国府線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線の市民病院の経由)
- 平成26年 5月 1日：御油地区地域路線の運行本数の変更
(1日6便から8便へ増便)
- 平成27年 5月 1日：御津地区地域路線の路線変更
(路線を5路線から7路線へ分割し、放射状の路線形態へ変更)
- 平成28年10月 1日：ダイヤ及び運行本数の変更、運賃体系の変更
(豊川国府線、音羽線、御津線は豊川市民病院以东を減便し、豊川市民病院以西を増便、ゆうあいの里小坂井線は最終便を減便)

1-2. 路線別の月別利用者数の推移

平成28年度の利用者数合計は83,748人となり、平成27年度に比べて2,304人減少しました。(前年比約2.7%減) 新たな体系で運行を始めた10月以降で、前年同月を上回る2~4月の合計利用者数を前年同期間と比較すると、千両三上線、ゆうあいの里小坂井線、一宮線、音羽線、一宮地区地域路線、御油地区地域路線の6路線は上回っています。

平成27年度路線別の利用者数推移													
路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成27年度合計
豊川国府線	888	1,054	1,022	1,034	1,008	1,002	1,101	1,041	1,041	927	803	1,050	11,971
千両三上線	966	986	1,086	1,133	966	898	1,053	967	973	782	915	939	11,664
ゆうあいの里小坂井線	728	762	937	785	811	725	782	769	660	653	496	817	8,925
一宮線	883	978	818	967	878	932	1,016	1,185	934	801	1,083	962	11,437
音羽線	745	762	789	837	732	781	842	834	812	679	735	797	9,345
御津線	624	602	708	634	579	650	743	736	687	606	605	663	7,837
つつじバス (音羽地区地域路線)	823	853	865	866	905	812	913	798	918	761	845	875	10,234
ハートフル号 (御津地区地域路線)	382	336	373	294	151	282	356	333	302	258	291	277	3,635
本宮線のんほい号 (一宮地区地域路線)	608	582	575	629	592	591	696	493	414	488	503	569	6,740
ごゆりんバス (御油地区地域路線)	317	372	363	396	362	419	379	344	319	291	327	375	4,264
合 計	6,964	7,287	7,536	7,575	6,984	7,092	7,881	7,500	7,060	6,246	6,603	7,324	86,052

平成28年度路線別の利用者数推移														H27との比較	
路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成28年度合計	増減数	増減率
豊川国府線	943	957	897	951	816	953	780	892	799	740	788	872	10,388	-1,583	-13.2%
千両三上線	912	931	966	962	944	925	1,043	978	979	932	921	1,036	11,529	-135	-1.2%
ゆうあいの里小坂井線	747	734	690	667	836	659	737	749	681	609	740	917	8,766	-159	-1.8%
一宮線	1,024	980	906	1,010	915	934	1,053	1,057	967	935	1,054	1,150	11,985	548	4.8%
音羽線	692	758	725	810	782	699	713	773	860	598	707	928	9,045	-300	-3.2%
御津線	611	661	713	672	678	660	698	575	546	479	502	654	7,449	-388	-5.0%
つつじバス (音羽地区地域路線)	905	841	912	905	888	842	735	695	832	721	805	899	9,980	-254	-2.5%
ハートフル号 (御津地区地域路線)	269	291	306	229	113	272	292	284	266	245	281	268	3,116	-519	-14.3%
本宮線のんほい号 (一宮地区地域路線)	521	530	510	518	495	469	524	542	452	508	501	572	6,142	-598	-8.9%
ごゆりんバス (御油地区地域路線)	426	385	393	439	479	459	487	453	504	360	472	491	5,348	1,084	25.4%
合 計	7,050	7,068	7,018	7,163	6,946	6,872	7,062	6,998	6,886	6,127	6,771	7,787	83,748	-2,304	-2.7%

平成29年度路線別の利用者数推移													
路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成29年度合計
豊川国府線	853												853
千両三上線	989												989
ゆうあいの里小坂井線	861												861
一宮線	1,000												1,000
音羽線	735												735
御津線	694												694
つつじバス (音羽地区地域路線)	868												868
ハートフル号 (御津地区地域路線)	270												270
本宮線のんほい号 (一宮地区地域路線)	525												525
ごゆりんバス (御油地区地域路線)	525												525
合 計	7,320	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,320

1－3．平成28年度（H28.4～H29.3）の収支率の実績と利用者1人あたりの負担額

- 基幹路線全体の収支率は10.42％（H27：11.76％）となっており、豊川市地域公共交通網形成計画の平成28年度目標値の15％より4.58％低くなっています。路線別では、千両三上線のみ目標値より高くなっていますが、その他の路線では目標値より低くなっています。
- 地域路線全体の収支率は8.87％（H27：9.47％）となっており、目標値の15％より6.13％低くなっています。路線別では、音羽地区地域路線が目標値に近い収支率となっていますが、すべての路線で目標値より低くなっています。
- 豊川市コミュニティバスの全体の収支率は9.91％（H27：11.02％）となっており、目標値の15％より5.09％低くなっています。
- 豊川市コミュニティバスの市負担額に対する利用者1人あたりの負担額については、路線全体では1,114円/人（H27：1,006円/人）となっています。

目 標		平成26年度 実績	数 値 目 標	
			平成28年度	平成32年度
目標1	市内を運行するバス路線*の利用者数の増加	8.3万人/年	11万人/年	13万人/年
目標2	公共交通の利便性の市民満足度の向上	43.4％	50％	52％
目標3	地域主体で検討したバス路線の運行実施地域数の増加	4地域	5地域	6地域
目標4	市内を運行するバス路線の収支率*の向上	10.7％	15％	17％

※「市内を運行するバス路線」については、市内と市外を結ぶバス路線は除きます。
※収支率は運賃収入を運行経費で割った値です。
（例：運賃収入100円 ÷ 運行経費1,000円 ＝ 収支率10％）

資料：豊川市地域公共交通網形成計画

平成28年度の路線別収支率・利用者1人あたり負担額

路線名	通常経費 (A)	運賃収入 (B)	国庫補助額 (C)	市負担額 (D)= (A-B-C)	車体広告 掲載収入 (E)	利用者数 (F)			収支率 【(B+E)／(A)】			利用者1人あたり負担額 【(D)／(F)】		
						H28	H27	H28-H27	H28	H27	H28-H27	H28	H27	H28-H27
						人/年	人/年	人/年	%	%	%	円/人	円/人	円/人
豊川国府線	18,860,550	1,363,558	4,380,480	13,116,512	144,000	10,388	11,971	▲ 1,583	7.99%	9.62%	▲ 1.63%	1,263	973	290
千両三上線	13,185,663	1,987,125	2,619,100	8,579,438	97,200	11,529	11,664	▲ 135	15.81%	16.78%	▲ 0.97%	744	665	79
ゆうあいの里小坂井線	12,561,604	1,420,096	3,029,800	8,111,708	110,400	8,766	8,925	▲ 159	12.18%	12.38%	▲ 0.20%	925	867	58
一宮線	9,514,260	678,411	0	8,835,849	0	11,985	11,437	548	7.13%	11.06%	▲ 3.93%	737	718	19
音羽線	12,476,229	1,285,247	1,650,600	9,540,382	110,400	9,045	9,345	▲ 300	11.19%	12.40%	▲ 1.21%	1,055	927	128
御津線	14,058,373	1,112,387	2,509,400	10,436,586	97,200	7,449	7,837	▲ 388	8.60%	9.42%	▲ 0.81%	1,401	1,242	159
基幹路線計	80,656,679	7,846,824	14,189,380	58,620,475	559,200	59,162	61,179	▲ 2,017	10.42%	11.76%	▲ 1.34%	991	879	112
音羽地区地域路線	12,269,161	1,551,180	0	10,717,981	68,400	9,980	10,234	▲ 254	13.20%	14.07%	▲ 0.87%	1,074	1,008	66
御津地区地域路線	9,092,796	278,483	0	8,814,313	97,200	3,116	3,635	▲ 519	4.13%	5.12%	▲ 0.99%	2,829	2,353	476
一宮地区地域路線	8,471,719	511,158	2,351,100	5,609,461	108,000	6,142	6,740	▲ 598	7.31%	8.62%	▲ 1.31%	913	748	165
御油地区地域路線	10,329,323	836,783	0	9,492,540	110,400	5,348	4,264	1,084	9.17%	8.54%	0.63%	1,775	2,089	▲ 314
地区地域路線計	40,162,999	3,177,604	2,351,100	34,634,295	384,000	24,586	24,873	▲ 287	8.87%	9.47%	▲ 0.61%	1,409	1,320	89
合計	120,819,678	11,024,428	16,540,480	93,254,770	943,200	83,748	86,052	▲ 2,304	9.91%	11.02%	▲ 1.11%	1,114	1,006	108

2. 【報告事項（2）】平成28年度決算及び平成29年度補正予算について

2-1. 平成28年度豊川市地域公共交通会議歳入歳出決算書及び決算監査報告書

平成28年度の決算書を以下に示します。

平成28年度豊川市地域公共交通会議歳入歳出決算書

1. 歳入

単位：円

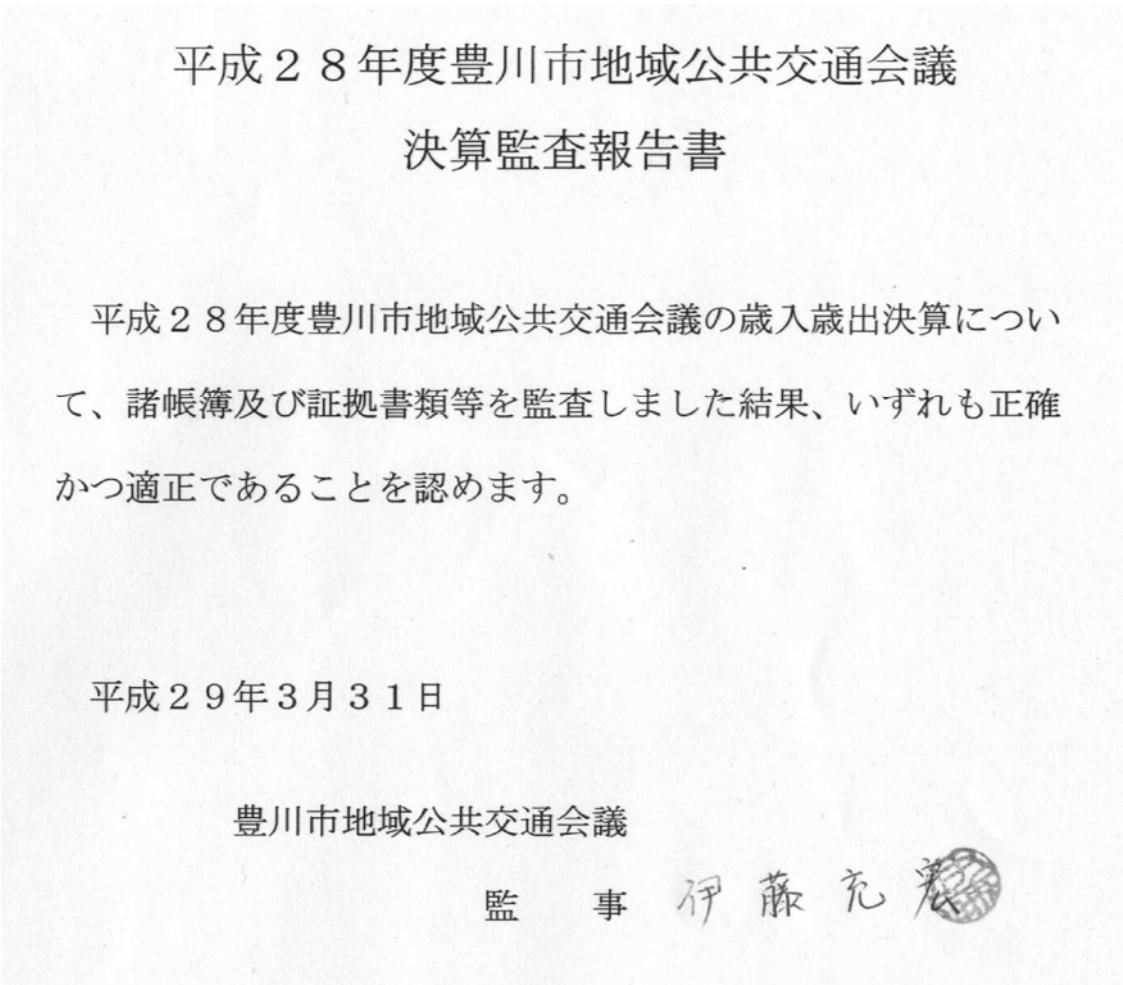
科 目	① 予算額(流用後)	② 収入済額	備 考
1負担金及び補助金	3,259,000	3,259,000	
1負担金	3,259,000	3,259,000	豊川市から
2国庫補助金	0	0	
2繰越金	34,503	34,503	
1繰越金	34,503	34,503	平成27年度公共交通会議剰余金
3雑入	1,000	21,364	
1雑入	1,000	21,364	預金利子 等
合 計	3,294,503	3,314,867	

2. 歳出

単位：円

科 目	① 予算額(流用後)	② 支出済額	備 考
1事業費	110,000	110,000	
1負担金	110,000	110,000	夏休み小学生50円バス実行委員会負担金
2需用費	2,687,020	2,539,024	
1消耗品費	551,241	551,241	利用促進イベント事務用消耗品 等
2印刷製本費	2,125,096	1,977,100	1日フリー乗車券バスマップ公共交通マップポケット時刻表 等
3食糧費	10,683	10,683	夏休み路線バス探検キャラバン
3役務費	10,000	9,828	
1手数料	10,000	9,828	振込手数料
4委託費	451,980	451,980	
1委託料	451,980	451,980	夏休み路線バス探検キャラバンバス停用運行経路図作成カラープリンター保守
5雑費	34,503	34,503	
1繰出金	34,503	34,503	市へ返戻平成27年度公共交通会議剰余金
6予備費	1,000	0	
1予備費	1,000	0	
合 計	3,294,503	3,145,335	

平成28年度豊川市地域公共交通会議予算残額 169,532円(収入済額 3,314,867円－支出済額 3,145,335円)につきましては、平成29年度豊川市地域公共交通会議予算に繰越し、豊川市に返戻します。



2-2. 平成29年度豊川市地域公共交通会議補正予算（案）

平成29年度の補正予算案を以下に示します。

平成29年度豊川市地域公共交通会議歳入歳出補正予算書（案）

1. 歳入

単位：円

科 目	①本年度 当初予算額	②補正額	③補正後 予算額	備 考
1 負担金及び補助金	5,555,000	0	5,555,000	
1 負担金	2,408,000	0	2,408,000	豊川市から
2 国庫補助金	3,147,000	0	3,147,000	国から 計画実施支援 平成28年度分
2 繰越金	20,000	149,532	169,532	
1 繰越金	20,000	149,532	169,532	平成28年度公共交通会議剰余金
3 雑入	1,000	0	1,000	
1 雑入	1,000	0	1,000	預金利子 等
合 計	5,576,000	149,532	5,725,532	

2. 歳出

単位：円

科 目	①本年度 当初予算額	②補正額	③補正後 予算額	備 考
1 事業費	113,000	0	113,000	
1 負担金	113,000	0	113,000	夏休み小学生50円バス実行委員会 負担金
2 需用費	1,913,000	0	1,913,000	
1 消耗品費	239,000	0	239,000	利用促進イベント 事務用消耗品費 等
2 印刷製本費	1,674,000	0	1,674,000	ポケット時刻表、公共交通マップ、 バスマップ（増刷） 1日フリー乗車券 等
3 役務費	10,000	0	10,000	
1 手数料	10,000	0	10,000	振込手数料
4 委託費	372,000	0	372,000	
1 委託料	372,000	0	372,000	路線バス探検キャラバン カラープリンター保守料 運行系統図データ作成
5 雑費	3,167,000	149,532	3,316,532	
1 繰出金	3,167,000	149,532	3,316,532	市へ返戻 平成28年度公共交通会議剰余金 平成28年度分国補助金
6 予備費	1,000	0	1,000	
1 予備費	1,000	0	1,000	
合 計	5,576,000	149,532	5,725,532	

※各科目間の予算は、相互に流用できるものとする。

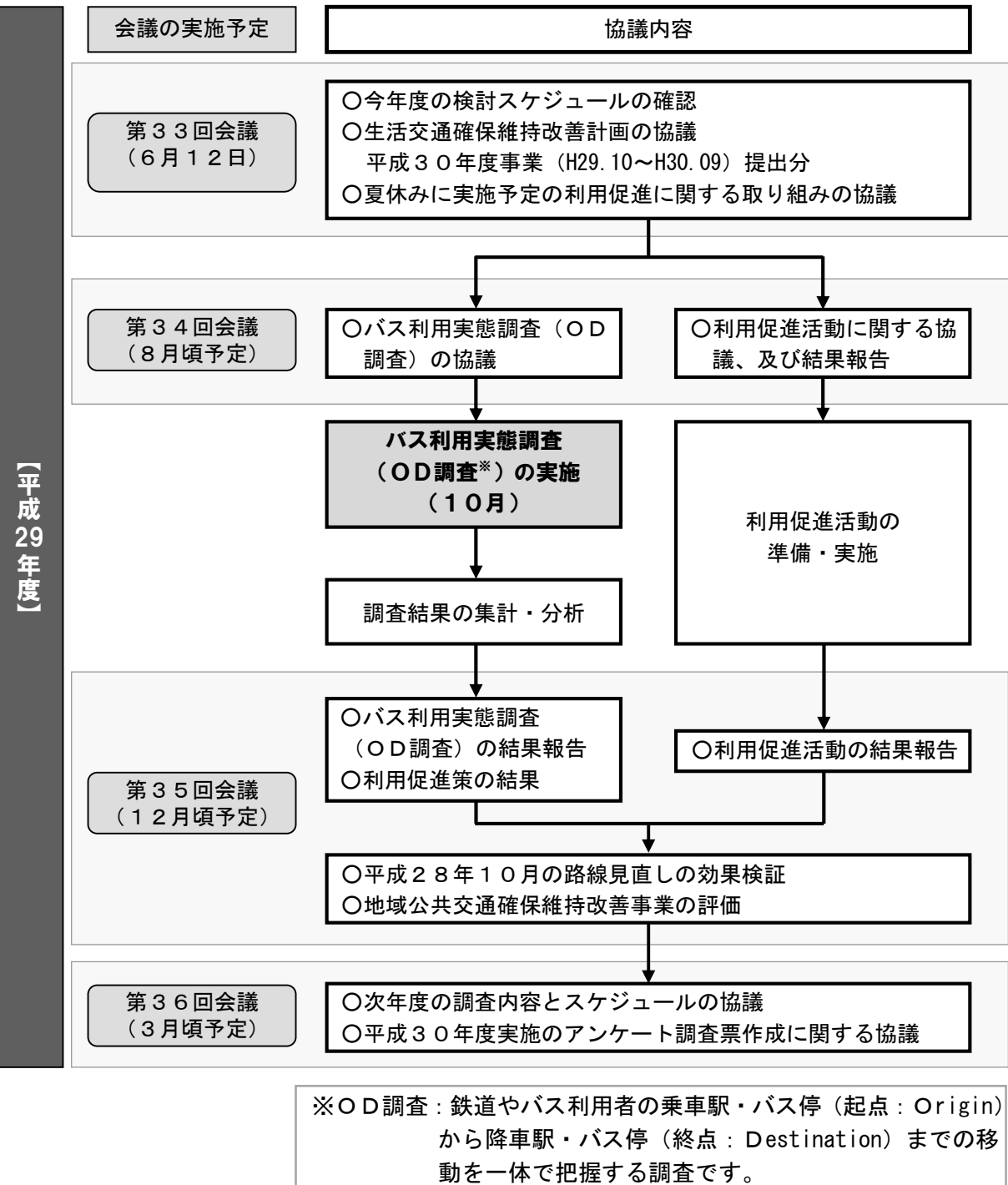
3. 【報告事項（3）】平成29年度の協議会スケジュールについて

3-1. 協議会スケジュール

平成29年度の地域公共交通会議は、4回の開催を予定しています。開催時期および会議の主な協議内容は以下のとおりです。

今年度の主な協議事項として、秋頃に実施予定のバス利用実態調査や市民又は地域協議会との利用促進活動に関する取り組みや、平成30年度に実施予定のアンケート調査票作成に関する協議を行います。

また、路線見直し後の周知・広報のための利用促進活動も合わせて実施します。



3-2. 実施事業の主な内容

平成29年度に実施する事業の主な内容は、以下のとおりです。

（1）利用促進活動の実施

①夏休みに実施予定の利用促進活動

平成29年度は、以下に示す2つの事業を中心とした取り組みを実施します。

施策1）夏休み小学生50円バスの実施（平成29年7月21日～8月31日）

施策2）夏休み路線バス探検キャラバン〔豊鉄バス乗車体験イベント〕の実施（平成29年8月5日）

②利用促進に向けた周知・広報活動の実施

豊川市コミュニティバスや豊鉄バス新豊線・豊川線のPR・周知に加え、市内公共交通の利用に関するPR・周知のため、ポスターの作成を行います。

また、地域路線の利用促進に向け、各地域協議会との意見交換会を行います。

（2）バス利用実態調査（OD調査）の実施

路線見直し後の効果等を検証するためOD調査を実施し、見直し後の利用実態と平成27・28年度の結果と比べた見直し前後の変化を把握します。

また、豊鉄バスで別途実施される利用実態調査結果も活用しながら、利用状況を分析します。

①調査内容：バス利用者の乗車バス停と降車バス停を把握するとともに、乗継路線や乗継方面を把握します。

②調査対象：豊川市コミュニティバス全線（基幹路線：6路線、地区地域路線：4路線）
豊鉄バス新豊線・豊川線（豊川市内）

③調査期間：豊川市コミュニティバス：5日間
豊鉄バス新豊線・豊川線：2日間（平日1日・休日1日）

④調査方法：豊川市コミュニティバス及び豊鉄バス新豊線・豊川線の調査日の全便に調査員が乗車し、OD調査カードを配布。路線によっては運転手に配布を依頼して実施。

（3）平成30年度に実施予定のアンケート調査票の作成準備

平成32年度に計画期間の満了を迎える豊川市地域公共交通網形成計画の目標達成度合いの検証と取り組みの評価、並びに次期計画の策定に備え、平成30年度に実施予定の公共交通利用者アンケート調査及び市民アンケート調査に向けたアンケート調査票の素案づくりを進めます。

4. 【報告事項（4）】地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

4-1. 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価の結果

国庫補助を活用して実施している地域公共交通確保維持改善事業及び計画推進事業について、より効果的、効率的に事業を推進するために、事業の実施状況や目標達成状況等の「自己評価」を実施し、平成29年1月に中部運輸局へ提出を行いました。

その後、平成29年2月13日(月)に「自己評価」の二次評価を実施する第三者評価委員会に出席し、中部運輸局より二次評価の通知がありましたので、以下に示します。

地域内フィーダー系統 事後評価要約版(28年度)				
支局	No.	自治体・協議会名	二次評価	※参考付記
		事業概要		第三者評価委員会における 主な委員コメント
		自己評価		
愛知	8	豊川市地域公共交通会議		
		豊川市コミュニティバス、豊川国府線、千両三上線、ゆうあいの里小坂井線他		
		・豊川市内を運行するバス路線の利用者数は、平成28年度(H27.10.1～H28.9.30)の84,731人/年(前年度84,340人/年)と微増した。 ・収支率は平成26年度の11.4%から平成27年度では11.8%へと増加した。 ・豊鉄バスとコミバスの併走区間解消のため、路線体系と運賃体系を見直し、共通1日フリー乗車券の発行や新たに共通ゾーンを設定するなどし、平成28年10月から運行を開始。		
			平成28年10月、豊川市民病院や市役所を拠点とした路線再編をはじめ、運賃の「共通ゾーン」設定、豊鉄バスと豊川市コミュニティバスの乗り継ぎ負担軽減のための「豊川市1日フリー乗車券」の通年化など、利便性向上に向けた路線の見直しや継続した利用促進策の取組を行うと共に、再編後の評価を適切に実施していることについて評価します。 今後は、共通ゾーン運賃の認知度の向上や1日フリー乗車券の周知を行うとともに、関係市町や事業者との連携により広域幹線の利用促進の取組に期待します。	・10月から路線再編が始まり、日もたっていないが、路線の周知はどのように行ったか。 ・市が良いと思ってやっていることを市民等へ周知・PRしていく必要がある。

調査事業(計画推進事業) 事業評価要約版(28年度)				
支局	No.	自治体・協議会名	二次評価	※参考付記
		事業概要		第三者評価委員会における 主な委員コメント
		自己評価		
愛知	5	豊川市地域公共交通会議		
		・OD調査の実施 ・企画乗車券、バスマップ、ポケット時刻表の作成 ・公共交通マップ、利用促進広報資料、公共交通利用促進ポスターの作成		
		・形成計画の評価スケジュールに沿ってOD調査を行い、平成28年10月の路線見直し後の効果検証を行った。調査結果を踏まえて今後の利用実態を注視し、見直しの効果の更なる検証を進めPDCAサイクルに添った継続的な改善を実施していく。 ・平成28年10月に民間路線も一体となった路線・運賃体系の見直し・企画乗車券の発行を行った。今後は老人会などを通じた周知や運行事業者の周知など関係部署と協働して認知度の向上を図りながら利用に繋げていく。 ・公共交通マップについては、部活動の試合や体験入学などをターゲットとして活用してもらうべく関係部署と調整を行った。利用促進広報資料について、地域でバスを守るための勉強会を平成29年2月に実施。これらの資料を活用し、地域路線の運営主体である市内4地区の地域協議会の意見交換などを行い持続可能な地域路線の運営を目指していく。		
			形成計画の評価を行うためのOD調査をはじめ、バスマップやポケット時刻表・利用促進資料やポスターの作成など事業を的確に遂行したことにより、利用者数・収支率とも改善していることを評価します。 引き続き、利用者の増加や収支率の目標達成に向け網形成計画に定められた事業を着実に実施し、地域住民との協働による利用促進策の実施、持続可能な公共交通ネットワークの構築を期待します。	・10月から路線再編が始まり、日もたっていないが、路線の周知はどのように行ったか。 ・市が良いと思ってやっていることを市民等へ周知・PRしていく必要がある。

5. 【協議事項（１）】生活交通確保維持改善計画について

5-1. 平成30年度事業分について

1. 生活交通確保維持改善計画に記載が必要となる事項

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

5. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

6. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定手法※1

7. 別表1及び別表3の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要※2

8. 別表1及び別表3の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧※2

9. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

10. 車両の取得に係る目的・必要性※3

11. 車両の取得に係る定量的な目標・効果※3

12. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額※3

13. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画

14. 協議会の開催状況と主な議論

15. 利用者等の意見の反映

16. 協議会メンバーの構成
- ※1：法定協議会(地域公共交通会議)を補助対象としないため、記載の対象外

※2：陸上交通の「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」を活用するため、記載の対象外

※3：補助対象期間内での車両の新規購入がないため、記載の対象外

2. 生活交通確保維持改善計画の内容

2-1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

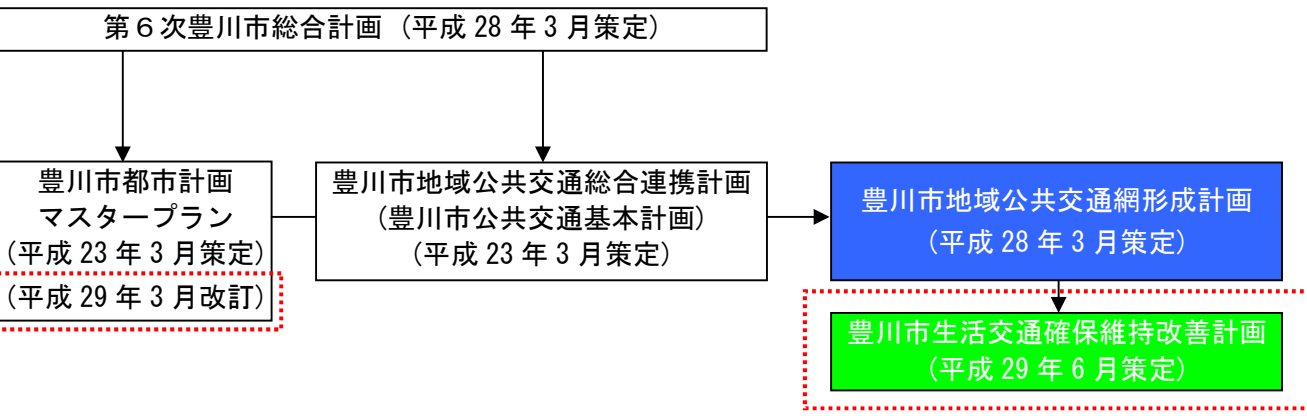
(1) 背景と目的

豊川市の市民の移動ニーズは主に市の中心部にありますが、バス路線は合併前の行政単位で運行し、市内の移動の足としての役割を十分果たしていない状況にあったため、市域を一体化するためにバス路線を再編しました。

(2) 必要性

豊川市では、平成23年3月に、市域全体の公共交通の基本的なあり方を定める「豊川市地域公共交通総合連携計画（豊川市公共交通基本計画）」を策定し、この計画に基づいて新設バス路線による運行を平成23年11月1日から運行を開始しています。さらに、平成28年3月にはまちづくり等との連携を加えた「豊川市地域公共交通網形成計画」に移行し、策定しています。

これら生活交通の確保を総合的な施策により確実に実行し、かつ継続していくため、地域公共交通確保維持改善事業に取り組むことが必要です。



2-2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

「豊川市地域公共交通網形成計画」で掲げた将来像、基本方針、目標の実現に向けて取り組みます。

将来像	市域全体を一体化し、みんなで支える公共交通ネットワークづくり
基本方針	(1) 市域全体の一体性を高める路線と地域に合った路線を、それぞれの役割に応じたサービスで運行 (2) 公共交通の利便性を高め、移動制約者が移動しやすい交通体系 (3) 行政、交通事業者、市民・地域・利用者が、それぞれの役割により協働で公共交通を支える仕組みづくり (4) 定期的な公共交通の評価の実施、継続的な路線の見直し・改善

基本目標	(1) 鉄道・バス・タクシー事業者と連携し、それぞれの役割分担を明確にして公共交通ネットワークをつくります (2) 人口や施設の分布状況により、市域をいくつかのエリアに分けて路線をつくります (3) 市民の移動ニーズやまちづくり施策との連携など、目的に合った路線とします (4) 地域特性や需要に応じた交通システムを採用します (5) 利用しやすい料金体系にします (6) 地域で必要な路線の運行確保は、地域主体とします (7) 公共交通利用促進につながる様々な取り組みを行います
------	--

目 標		平成28年度実績	数 値 目 標 (平成32年度)
目標1	市内を運行するバス路線※の利用者数の増加	8.4万人/年	13万人/年
目標2	公共交通の利便性の市民満足度の向上	42.6% (H27実績)	52%
目標3	地域主体で検討したバス路線の運行実施地域数の増加	4地域	6地域
目標4	市内を運行するバス路線の収支率の向上	9.9%	17%

※「市内を運行するバス路線」については、市内と市外を結ぶバス路線は除きます。

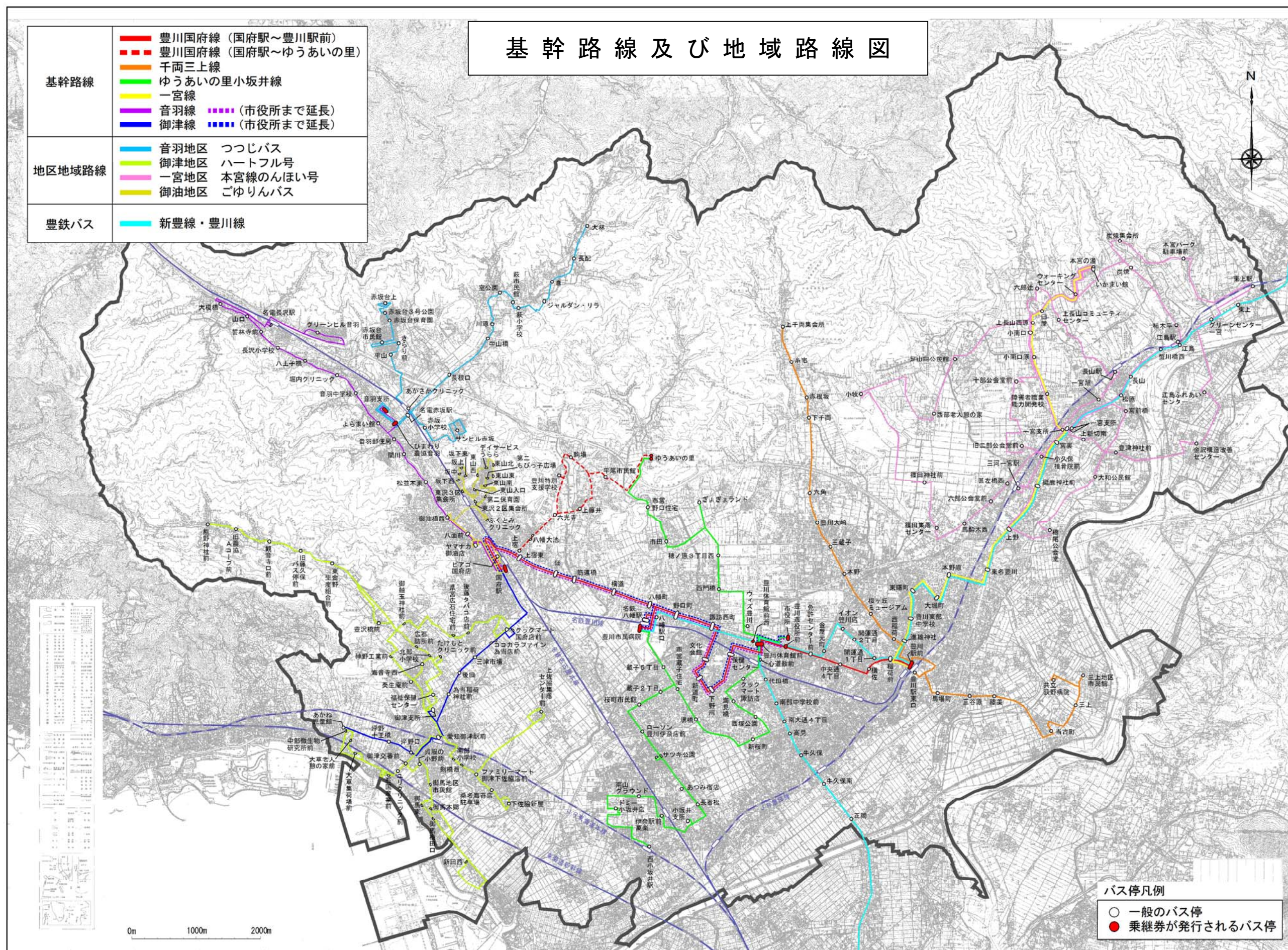
(2) 事業の効果

定量的な目標を達成することにより、次の効果が期待されます。

- ・豊川駅、国府駅、諏訪地区を交通結節点とする市域を一体化するネットワークの構成により、市の中心部へのアクセス利便性の向上
- ・公共交通の満足度の向上による公共交通の利用者数の増加
- ・地域主体で取り組む路線の増加による公共交通の利用意識の向上
- ・市の面積に占めるバス利用勢圏のカバー率の向上
- ・適切なサービス水準で、効率的な運行により持続性のある生活交通の確保

2-3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運行予定者

(1) 運行路線



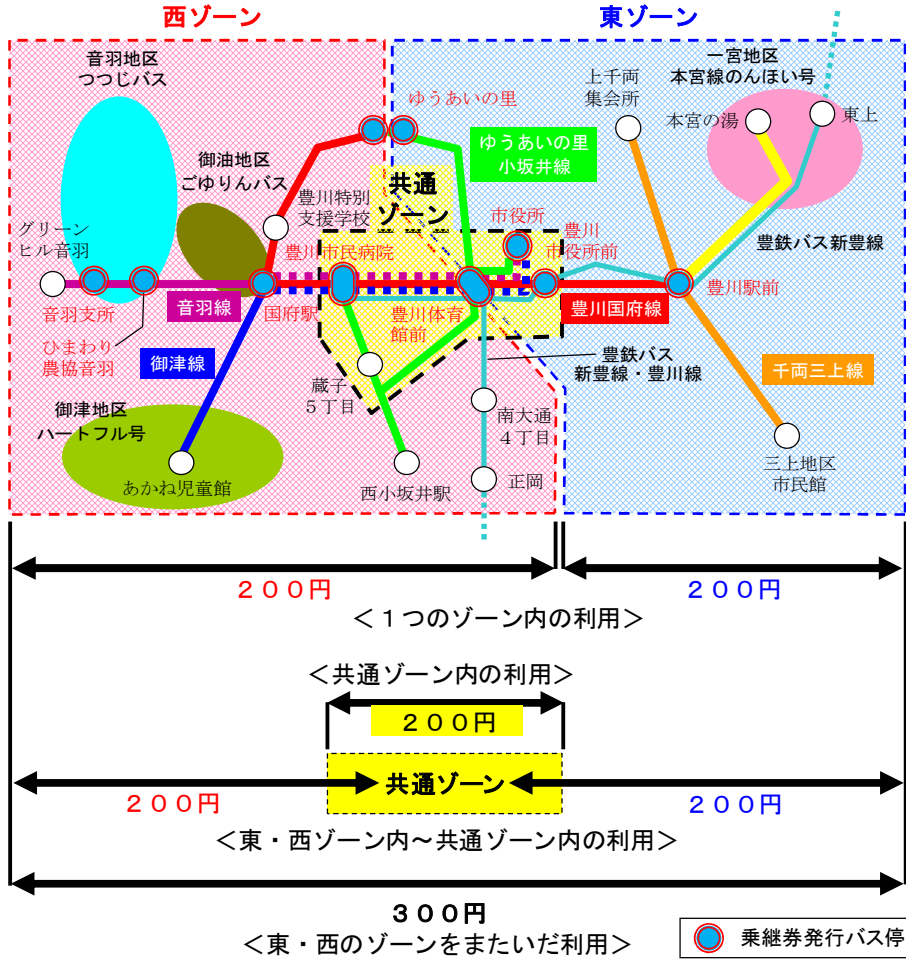
(2) 運行系統の概要

区分	路線名		運行本数	運行日	使用車両
基幹 路線	豊川国府線		15 便/日	毎日	小型バス 1 台
	千両三上線		14 便/日	毎日	ジャンボタクシー 1 台
	ゆうあいの里小坂井線		9 便/日	毎日	ジャンボタクシー 1 台
	一宮線		8 便/日	毎日	中・大型バス 1 台
	音羽線	国府駅	6 便/日	毎日	ジャンボタクシー 1 台
		豊川市民病院直通	2 便/日	毎日	
		市役所直通	3 便/日	毎日	
	御津線	国府駅	4 便/日	毎日	ジャンボタクシー 1 台
		豊川市民病院直通	8 便/日	毎日	
		市役所直通	4 便/日	毎日	
地区 地域 路線	音羽地区つつじバス		7 便/日	毎日	ジャンボタクシー 1 台
	御津地区 ハートフル 号	金野・北部小線	1 便/日	月～金曜日	ジャンボタクシー 1 台
		赤根・大草線	5 便/日	月・水・金曜日	
		金野・豊沢線	3 便/日		
		下佐脇線	3 便/日		
		上佐脇線	3 便/日		
		広石・豊沢線	3 便/日		
		新田・御馬線	5 便/日		
	一宮地区 本宮線 のんほい号	東回り	3 便/日	火～土曜日	ジャンボタクシー 1 台
		中回り	4 便/日		
		西回り	4 便/日		
	御油地区ごゆりんバス		8 便/日	毎日	ジャンボタクシー 1 台

- ※1：運休日について
- ・基幹路線の全線、地区地域路線の音羽・御津・御油地区は、年始の 1/1～1/3 を運休
 - ・地区地域路線の御津地区の金野・北部小線については、夏休み期間中の 8/1～8/31 を運休
 - ・地区地域路線の一宮地区は、年末年始の 12/29～1/3 を運休
- ※2：迂回路での運行について
- ・年始の豊川稲荷参拝客による道路混雑を避けるため、豊川国府線、千両三上線、一宮線は、1/4 以降の平日を含む日曜までと次週の土日祝日は迂回路で運行

(3) 料金

- 料金体系は、東・西・共通ゾーンの 3 ゾーンに分割します。
- ・基幹路線：初乗り 200 円
 - ・東・西・共通ゾーン内のみ利用：200 円
 - ・東・西ゾーン内～共通ゾーン内の利用：200 円
 - ・東・西ゾーンをまたぐ利用：300 円
 - ・音羽地区地域路線：初乗り 200 円 御津地区地域路線：初乗り 100 円
 - ・一宮地区地域路線：初乗り 100 円 御油地区地域路線：初乗り 200 円



<各路線へのゾーン制の適用>

広域路線	豊鉄バス 新豊線・豊川線	・ゾーン制を適用（ただし、他の路線への乗継は、乗継先の初乗り料金を支払って乗車）
基幹路線	一宮線を除く路線	・ゾーン制を適用
	一宮線	・ゾーン制を適用（ただし、他の路線への乗継は、乗継先の初乗り料金を支払って乗車）
地区地域路線	音羽地区地域路線	・西ゾーン内の路線として扱い、ゾーン制を適用
	御津地区地域路線	・基幹路線の御津線への乗継は、乗継先の初乗り料金を支払って乗車
	一宮地区地域路線	・基幹路線の一宮線への乗継は、乗継先の初乗り料金を支払って乗車
	御油地区地域路線	・西ゾーン内の路線として扱い、ゾーン制を適用

<その他の料金設定>

- a. 未就学児：半額 ただし、同伴者 1 人につき 1 人まで無料
- b. 小学生：半額 （※御津地区地域路線では、小学生は通常料金を適用）
- c. 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している方とその付添人 1 人：半額

2-4. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

補助事業の基準への適合性を考慮して、陸上交通の「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金（以下、地域内フィーダー系統と略す。）」を活用することとし、基幹路線5路線、地区地域路線1路線を対象とします。

補助対象事業者は運行事業者とし、補助対象路線を運行する下表の運行事業者が補助対象事業者とします。

路線区分	補助対象系統	補助対象事業者
基幹路線	豊川国府線 （国府駅～豊川特別支援学校、国府駅～ゆうあいの里の運行系統は除く）	豊鉄バス株式会社
	千両三上線 ゆうあいの里小坂井線 音羽線（市役所・豊川市民病院直通系統のみ対象） 御津線（市役所・豊川市民病院直通系統のみ対象）	豊鉄タクシー株式会社
	地区地域路線	一宮地区地域路線（東・中・西回りの3系統）

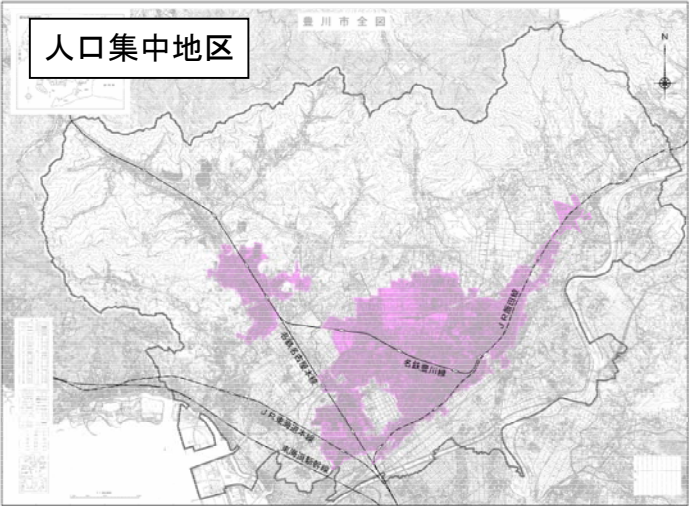
2-5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

運行事業者名	運行系統名	確保維持事業に要する 国庫補助額(千円)			国庫補助上限額 (千円)
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成29年度
豊鉄バス(株)	豊川国府線	6,334.0	6,334.0	6,334.0	3,297
豊鉄タクシー(株)	千両三上線	3,973.5	3,973.5	3,973.5	9,615
	ゆうあいの里 小坂井線	4,360.5	4,360.5	4,360.5	
	音羽線	2,433.0	2,433.0	2,433.0	
	御津線	3,941.5	3,941.5	3,941.5	
	一宮地区地域 路線東回り	1,133.0	1,128.5	1,128.5	
	一宮地区地域 路線西回り	1,318.0	1,312.5	1,312.5	
	一宮地区地域 路線中回り	1,311.0	1,306.0	1,306.0	
合 計		24,804	24,789	24,789	12,912

差替え予定

2-6. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

(単位：人)	
	人口
人口集中地区以外	63, 674
※平成 27 年 国勢調査	



2-7. 協議会の開催状況と主な議論

開催年度	会議回数・会議開催日
平成20年度	第 1 回 平成21年 2月13日
平成21年度	第 2 回 平成21年 5月 1日 / 第 3 回 平成22年 1月25日
	第 4 回 平成22年 3月30日
平成22年度	第 5 回 平成22年 7月20日 / 第 6 回 平成22年10月26日
	第 7 回 平成23年 1月18日 / 第 8 回 平成23年 3月23日
平成23年度	第 9 回 平成23年 5月24日 / 第10回 平成23年 6月24日
	第11回 平成23年10月31日 / 第12回 平成24年 3月23日
平成24年度	第13回 平成24年 6月19日 / 第14回 平成24年 8月27日
	第15回 平成25年 1月22日 / 第16回 平成25年 3月25日
平成25年度	第17回 平成25年 6月18日 / 第18回 平成25年 8月26日
	第19回 平成25年12月24日 / 第20回 平成26年 3月27日
平成26年度	第21回 平成26年 5月22日 / 第22回 平成26年 8月11日
	第23回 平成26年12月25日 / 第24回 平成27年 3月18日
平成27年度	第25回 平成27年 6月 9日 / 第26回 平成27年 8月12日
	第27回 平成27年12月25日 / 第28回 平成28年 3月 8日
平成28年度	第29回 平成28年 6月15日 / 第30回 平成28年 8月 3日
	第31回 平成28年12月26日 / 第32回 平成29年 3月24日
平成29年度	第33回 平成29年 6月12日

2-8. 利用者等の意見の反映

これまでに、バス利用者アンケートを4回、住民アンケートを3回、豊川市民病院来院者アンケートを2回、公共交通に関する計画に係るパブリックコメント・意見募集を2回、住民説明会を5回行っています。

2-9. 協議会のメンバー構成

豊川市地域公共交通会議の委員として、主宰市3名、都道府県1名、交通事業者及び事業者団体4名、地域住民・利用者8名、地方運輸局1名、運転者が組織する団体1名、道路管理者3名、都道府県警察1名、学識経験者2名の、計24名で構成されています。

6. 【協議事項（２）】１日フリー乗車券について

6－１．１日フリー乗車券の有効期間の更新

（１）実施内容

１日フリー乗車券は、平成２８年１０月１日の路線の見直し及び運賃体系の変更に合わせて導入しています。購入後の有効期間は、導入開始後１年間の平成２９年９月３０日としています。

平成２９年１０月１日以降については、有効期間を平成３０年９月３０日までに更新し、引き続き１日フリー乗車券の発行を続けていきます。

内容や販売額の変更はありません。

【券種名】

- 共通１日フリー乗車券

【乗車適用区間】

- 豊鉄バス
豊鉄バス㈱が運行する新豊線、豊川線の「正岡」～「東上」間（豊川市内限定）
- 豊川市コミュニティバス
豊川国府線、一宮線（豊鉄バス）
千両三上線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線、音羽地区地域路線、御津地区地域路線、一宮地区地域路線、御油地区地域路線（豊鉄タクシー）
＜１０路線＞

【内容】

- 乗車適用区間について乗車１日限り何度でも乗降が可能

【販売金額】

- 大人５００円、小人２５０円

【販売箇所】

- 豊鉄バス 新豊線、豊川線の車内
- 豊川市コミュニティバスの車内
- 豊川市役所人権交通防犯課
- 豊川市各支所
- 豊橋駅バスセンター



豊川市１日フリー乗車券

7. 【協議事項（3）】利用促進に関する取り組みについて

7-1. 今年度の利用促進に関する取り組み

平成29年度の利用促進に関する取り組みを以下に示します。

実施月	取組内容
平成29年7月21日（金） ～ 8月31日（木）	夏休み小学生50円バスの実施
平成29年8月5日（土）	夏休み路線バス探検キャラバンの実施

7-2. 夏休み小学生50円バス 実施内容（案）

豊川市と豊鉄バスでは下記の期間中、小学生運賃を一律50円とするキャンペーンを行うことを予定しており、期間中は一部路線の運賃に変更があります。

対象路線や実施方法、乗継の停留所を以下に示します。

（1）対象路線：豊川市内のバス路線

- 豊鉄バス
豊川線、新豊線 <2路線>
- 豊川市コミュニティバス
豊川国府線、一宮線（豊鉄バス）
千両三上線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線、音羽地区地域路線、御津地区地域路線、一宮地区地域路線、御油地区地域路線（豊鉄タクシー） <10路線>
- ※東三河地域（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村の自治体）において高速バスを除く全バス路線が対象となります。

（2）実施期間

- 平成29年7月21日（金）～8月31日（木）

（3）対象者

- 小学生

（4）実施方法

- 期間中、小学生運賃均一50円で統一します。
※大人1人に幼児2人の場合、幼児1人は無料となりますが、2人以降は50円とします。
- 期間中については、小学生はゾーンを超えて乗車しても50円とします。
※市内全て50円で乗車できるようにします。（25円設定は行いません。）
乗継ぐ場合、1乗車目のバス降車時に50円を支払うとともに、乗継ぎ券を受け取り、2乗車目以降の降車時は乗継ぎ券のみで利用可能とします。

（5）広報・周知

- ・広報とよかわ7月1日号
- ・市ホームページ
- ・東三河地区の小学生を対象にチラシを配布
- ・バス車内、公共施設などでのポスター掲示 等

（6）乗継バス停

乗継バス停名称を以下に示します。

	第一乗車（第二乗車）	第二乗車（第一乗車）
本宮の湯（いかまい館）	一宮線	一宮地区地域路線
一宮支所	一宮線・新豊線	一宮地区地域路線
豊川駅前	新豊線・豊川線・一宮線	千両三上線
	豊川国府線	千両三上線
	新豊線・豊川線・一宮線	豊川国府線
豊川市役所前（市役所）	新豊線・豊川線	御津線・音羽線
	新豊線・豊川線	豊川国府線
	新豊線・豊川線	ゆうあいの里小坂井線
	御津線・音羽線	ゆうあいの里小坂井線
	豊川国府線	ゆうあいの里小坂井線
豊川体育館前	新豊線・豊川線	御津線・音羽線
	新豊線・豊川線	豊川国府線
	新豊線・豊川線	ゆうあいの里小坂井線
	御津線・音羽線	ゆうあいの里小坂井線
	豊川国府線	ゆうあいの里小坂井線
豊川市民病院	新豊線・豊川線	ゆうあいの里小坂井線
	豊川国府線・音羽線・御津線	ゆうあいの里小坂井線
	新豊線・豊川線	豊川国府線・音羽線・御津線
国府駅	豊川国府線	御津線・音羽線 御油地区地域路線
	音羽線	御津線・御油地区地域路線
	御津線	音羽線・御油地区地域路線
	御油地区地域路線	音羽線・御津線
ゆうあいの里	豊川国府線	ゆうあいの里小坂井線
ひまわり農協音羽	音羽線	音羽地区地域路線
音羽支所	音羽線	音羽地区地域路線
クックマート国府店前	御津線	御津地区地域路線
愛知御津駅前	御津線	御津地区地域路線
御津支所	御津線	御津地区地域路線

7-3. 夏休み路線バス探検キャラバン 実施内容（案）

子どもたちのバスへの関心を深めることやバス利用の促進を目的に、バスと触れ合う機会を設ける体験型イベントを行います。

- | | |
|------------|--|
| (1) 日時 | 平成29年8月5日（土）10:00～12:30 |
| (2) 場所 | 豊鉄バス(株)植田車庫（豊橋市植田町） |
| (3) 集合・解散 | 豊川市役所 |
| (4) 対象 | 小学生以下と保護者
（1組の申し込みは保護者を含む4人まで） |
| (5) 内容 | 路線バスに乗ったままでの洗車機体験、路線バスとの綱引き、バス整備工場の見学など、普段では体験することのできない路線バスの秘密を探ります。 |
| (6) 定員 | 60人程度（応募多数の場合は抽選） |
| (7) 参加料 | 無料 |
| (8) 申し込み方法 | 往復はがき・市ホームページ・電子メール 等 |
| (9) 広報・周知 | 広報とよかわ7月1日号、市ホームページ 等 |
| (10) 主催 | 豊川市地域公共交通会議 |



バスとの綱引き対決の様子（平成28年度）



バス整備工場の見学の様子（平成28年度）

8. 【協議事項（４）】コミュニティバス運行事業における予備車の配備について

8－1. 豊鉄タクシー（株）が運行する路線における予備車の配備

（１）概要

豊鉄タクシー（株）が運行する下記路線において、予備車を配備するにあたり車いす非対応車両であることから、移動円滑化基準第４３条の規定に基づき、基準適用除外の認定を受けるため国土交通省中部運輸局へ申請を行います。

（２）予備車の内容

事業者名	路 線 名	車両種類・台数	配備する営業所	乗用事業 との 併用の有無	導 入 日 (予 定)	備 考
豊鉄タクシー（株）	千両三上線 ゆうあいの里小坂井線 音羽線 御津線 音羽地区地域路線 御津地区地域路線 一宮地区地域路線 御油地区地域路線	ジャンボタクシー １台 乗車定員：９人 車いす非対応車両	豊鉄タクシー（株） 豊川営業所	有	平成２９年８月１日	８路線の共用の 予備車とする

（３）その他

予備車両については、通常運行しているバリアフリー対応車両が定期点検・法定点検などの際に運行をするものです。

車イス利用の際には、利用される方に利用前日の１８時までに運行事業者の営業所へ連絡をお願いしていますが、車イス利用予約がある場合については、予備車両での運行は行いません。

また、予備車両の運行当日に車イス利用予約が入っていない方が乗車を希望された場合は、車両は車イス対応車両ではありませんが、乗車できるように配慮します。